

◆「人と川とのつながり」に関する追加意見・質問

<意見(要約)>

- ・住民参加推進プログラム、住民・住民団体との連携状況、河川レンジャーの進捗状況等に関して、様々な活動を通して住民・地域の意識がどのように変わっていくのか、参画する住民の数がどのように変化するか、くみ取れるよう工夫が必要。【中谷委員長】
- ・それぞれの地域で少しでも川に関心を持ってもらうために、地域にとって水防上重要な場所などと距離標とを、適度に関連づけて、QRコードによる情報提供等を充実させていくことが必要。【中谷委員長】
- ・河川愛護活動について木津上と青蓮寺ダムでゴミ回収量の記載があるが、地区別の人数、量の把握がされているのなら示していただきたい。地道な取り組みであるが今後の充実を図るためにも必要。【中谷委員長】
- ・水害関係の情報提供については、ポータルサイトがあるかどうかポイント。ポータルサイトには、整備局の情報を示す部分と、市町村に情報の示し方を例示する部分(ガイドライン)、各市町村の情報の入り口を示す部分で構成。これにより、地域住民にも避難情報の背景を理解するための情報が参照できる形になる。これらのポータルサイトでどの程度周辺情報を把握できるかを検討しておくことが必要。【須川委員】
- ・河川レンジャーは、河川管理に双方向性を持たせるために重要な役割を果たすというガイドラインをもっていると考えられ、直轄区間の活動について、定期的にそのガイドラインに沿って検証しつつ、また他地域や府県などに、そのような活動を促して行くということが必要。【須川委員】

◆「人と川とのつながり」に関する追加意見・質問

<質問> 交流拠点施設の目的や検討会の構成などは？

● 淀川三川合流部交流拠点施設について

淀川三川合流地域づくり検討会 (平成16年12月設置)

目的: 三川合流付近の地域整備のあり方を検討するために設定。

構成: 近畿地方整備局、京都府、大阪府、京都市、八幡市、大山崎町、久御山町、枚方市、島本町

淀川三川合流域地域づくり構想 (平成19年11月策定)

三川合流域の美しい景観、豊かな自然・歴史文化環境を保全しつつ地域を活性化していくこととしており、「環境と調和した中核的な交流施設」、「広域的なネットワーク形成の拠点施設」等を整備する。

淀川三川合流地域づくり推進協議会 (平成19年12月設置)

目的: 「淀川三川合流域地域づくり構想」の実現に向け設置。

構成: 近畿地方整備局、京都府、大阪府、京都市、八幡市、大山崎町、久御山町、枚方市、島本町

淀川三川合流域地域づくり構想実現に向けた行動計画

(平成21年3月策定)

目的: 淀川三川合流域地域づくり構想の実現に向けた国、府、市の役割分担を明記した行動計画を策定。(国は拠点施設の整備が任務)

淀川河川公園基本計画 (平成20年8月策定)

目的: 国営公園全体の計画に加え、京都府域の公園センターとしての機能も備えた三川合流域拠点施設の設置を位置付け(将来構想)



具体の地区計画へ反映

公園事業への反映

淀川河川公園背割堤地区公園整備計画 (平成23年12月策定)

目的: 背割堤地区の一角にサービスセンターとしての整備を位置付け。地域間交流の拠点整備と地域連携による利活用の仕組みも検討。

推進協議会メンバーを軸にした様々な主体と連携し、平成29年春頃の供用を目指して現在ハード・ソフトの両輪で事業を推進中。

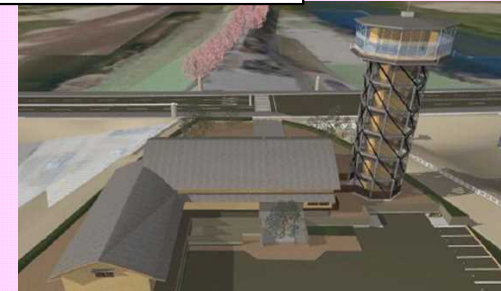
地域づくり構想に基づく多様な地域プログラムを展開



地元市町等と連携して地域振興につながるプログラムを実施中

三川合流部交流拠点整備に向けた取組

淀川三川合流拠点施設検討委員会(構成: 京都府・八幡市・大山崎町・久御山町・観光協会・国)でのご意見を踏まえ三川合流部にふさわしい施設の設計を検討。三川合流部の美しい景観を見渡す展望塔と地域振興の拠点となるサービスセンターを整備予定。平成29年春頃の供用を目指し事業を推進。



三川合流拠点施設完成イメージ